

東海大学医学部付属病院では、
受診時に患者さんから得られた試料や診療情報等を使用して
下記の臨床研究を行っています。

下記臨床研究は「東海大学医学部 臨床研究審査委員会」の承認と研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】

硬膜動静脈瘻の臨床学的特徴と予後

【研究の目的】

下記の診療情報等を利用し、硬膜動静脈瘻の自然経過と早期治療介入が必要な症例を解明することを目的としています。

【研究の対象となる方】

2003年1月1日から実施許可日までの間に、当院の脳神経外科で硬膜動静脈瘻と診断・治療された方です。

【利用期間（研究実施期間）】

2022年8月3日 から 2022年12月31日まで

【研究に用いる試料・診療情報等の項目】

・診療情報等：診断日、年齢、性別、発症前 mRS、脳血管撮影所見、実施治療法、血管内治療の場合塞栓物質の種類（NBCA、ONYX）、技術的成功、治療の合併症、退院時 mRS の転帰を調査し、最終評価として脳出血の有無を調査します。

【利益相反に関する事項】

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

【問い合わせ先】

東海大学医学部附属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2300）

研究責任者 脳神経外科 重松秀明

問い合わせ担当者 脳神経外科 重松秀明